

本資料は、投資家が匿名組合契約の申込みにあたり、必要な営業者情報を営業者が独自にまとめたものであり金融商品取引法による法定開示情報ではありません。

失われる古民家に新たな価値をつくる
日本文化を世界へ 循環型社会を実現する会社になる

株式会社山翠舎
会社概要



LOCAL CIRCULAR SERVICE COMPANY

山翠舎とは、
地域総合循環型ビジネスを展開する
企業です。



創業100周年である2030年までに 地域に根づいた循環型社会を実現する。

1930年、長野県の小さな木工所からはじまった山翠舎は、創業当初から受け継がれる職人の技に支えられながら、時代と共に建具屋から工務店、内装業へと形を変えてきました。

そして、さまざまな設計や施工を行う中で、過酷な自然のなかに立つ古民家に出会います。戦前に建てられた古民家に使用される古木は太さ、品質、強度、様々な点で優れており、さらには、それらには、ひとつとして同じ形がありません。職人の手仕事や技の軌跡が表面に刻み込まれ、大切に住み受け継がれてきたエピソードがありました。

本来ならば解体し、処分されるはずだった古民家。活かすことのできる建造物や資材があるのに、“もったいない”。この精神から、山翠舎の事業は古民家の再生に留まらず、飲食店、商業施設、地域活性化、新規事業開発へと展開していきます。

自然、資源、人、暮らしの歴史を、未来へつないでいくために、私たち山翠舎は、地域に根づいた新しい価値を創造してまいります。

01 Our Story

山翠舎のストーリー

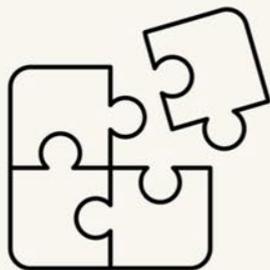
- 1930 初代・山上松治郎が長野市で建具屋『山上木工所』を創業
建具製作を開始
- 1970 現会長・山上建夫が『株式会社山上木工所』を創立
住宅などの一般建築業を開始
- 1980 世田谷区に東京営業所を開設
東京進出、商業建築を中心に施工
- 1986 社名を『株式会社山翠舎』に変更。
長野市大豆島の工業団地に本社移転、新社屋・新工場の完成
- 2006 古木倉庫を開設
古木の買取・販売事業を開始。長野県の補助金対象事業に認定
- 2009 東京営業所を渋谷区広尾に移転。
東急ハンズ新宿店6階に古木売り場を開設
- 2012 三代目社長に山上浩明が就任
- 2013 東京支社を設立
古民家の移築再生事業を開始
- 2015 長野県大町市に日本最大の古木倉庫兼工場を開設
開業支援を開始
- 2017 信州ブランドアワード 2017 企業・事業ブランド部門賞 受賞
- 2018 小売ブランド『古木屋松治郎』がスタート。東京支社にコミュニティールーム開設。
店舗内装業界初、テレビ会議システムのCisco Webex Boardを導入。
「スタートアップアントレプレナー表彰プログラム"EOY JapanStartup Award 2018"
(主催:EY Japan)」の甲信越代表に選出。
- 2019 長野県SDGs推進企業登録。
古木『FSC COC認証』取得。グッドデザイン賞2019受賞
- 2020 『地域未来牽引企業』に選定。ウッドデザイン賞2020奨励賞
グッドデザイン賞2020受賞
- 2021 飲食店開業支援サービス『OASIS』開始。信州SDGsアワード2021受賞
- 2022 コーポラティブスペース『合間(aima)』開業
FEAT.space オープン

歴史・伝統を継ぎ、幸せがめぐる社会を創る。

山翠舎は、使われなくなってしまった古民家から、価値ある古木を再生し、店舗空間やインテリア家具として資源を循環させていきます。

また、地域に残る魅力的な空き家や、廃棄食材をも循環させることで、これまで受け継がれてきた地域由来の暮らしを、未来へとつないでいきます。

03 Mission 山翠舎の使命



温古 過去を敬う

住まう人の想い、文化や歴史が詰まった古民家から古木を回収。そのストーリーを価値として再度付加し、空間づくりを行います。

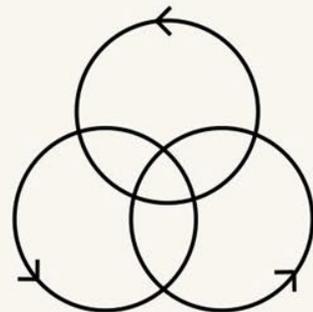
VALUE 01 古木®



創新 新たな価値を創る

匠の技を受け継ぎ現代のデザインに活かせる「熟練職人」が古民家の移築・再生や、古木を使った新たな価値づくりを行っています。

VALUE 02 職人たちの技術



循環 次の世代に繋いでいく

環境負荷低減と同時に、循環型経済で最も重要な「利益」を生み出す、モノ/コト/トキ/カネが循環する仕組みを創出します。

VALUE 03 モノ・コト・トキ・カネの循環



04 Our Value VALUE 01 古木®

DEFINITION

山翠舎の定義する古木とは、戦前80年以上前に建てられた古民家の解体から発生した柱・梁・桁・板・枕木の木材のこと。社内に在籍する古木鑑定士が、虫食いや水濡れのない状態を確認し、質が良い状態で保っており、古民家の建てられた年代や場所、材木など入手ルーツが明確でトレーサビリティが確保されているものを古木と定義しています。

柱
Hashira梁
Hari桁
Keta板
Ita枕木
Makuragi



04 Our Value VALUE 01 古木®

STRENGTH

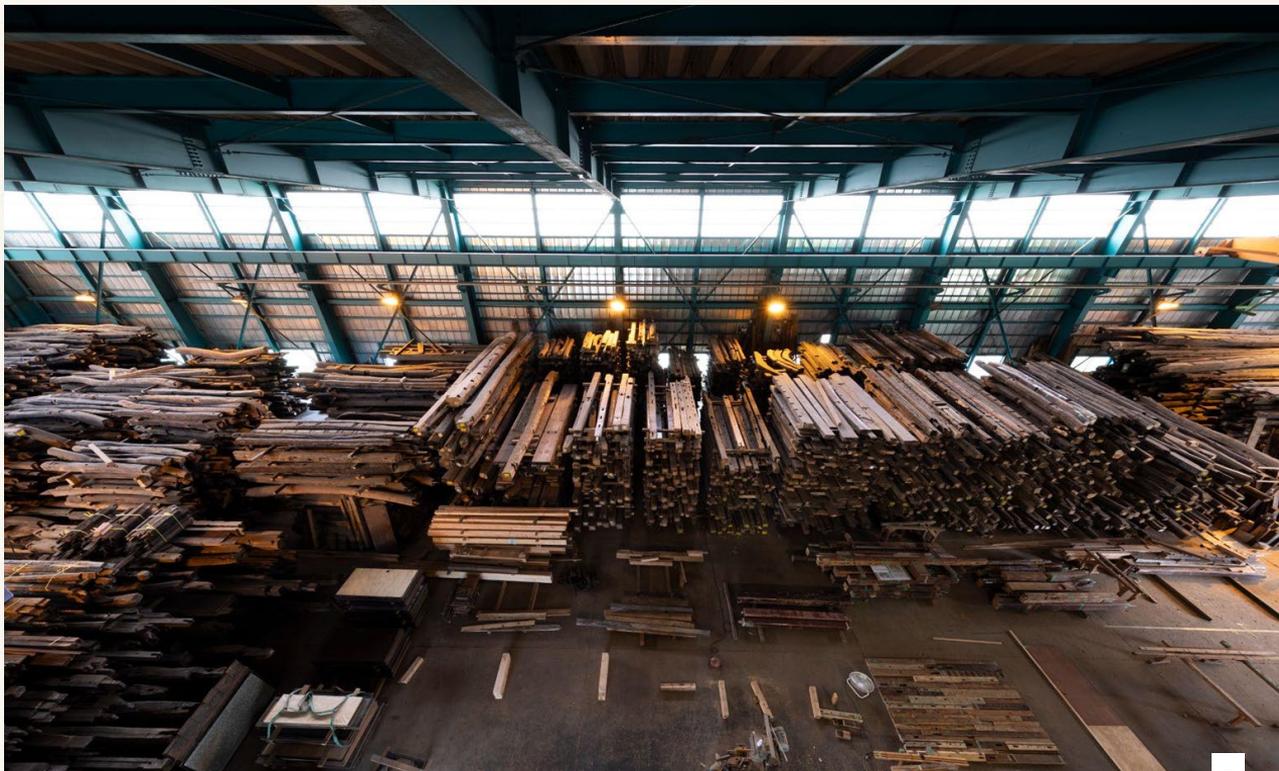
常時5000本の在庫

長野県大町市に古木専門の倉庫を構え、一本一本の入手地や年代、古民家のどこに使われていた部位かなどを記録し、古木のトレーサビリティを管理。お客様のご要望に合わせ、適切な古木の販売を行ないます。

古木・古材の扱いを熟知した職人がそろっているため、スライスや幅切りなど、要望にそった細かな加工に対応でき、現場に納品されたら即、取り付けられる状態でお届けすることもできます。

古木・古材販売

古木®マーケット



FUNCTIONAL VALUE

状態が良い古木は新材にも勝る強度

法隆寺昭和大修理の際に
伐採後200年が1番の強度と証明

木材は伐採後、時間の経過と共に乾燥が進み強度が増します。法隆寺昭和大修理の際に出た木材を試験材に実験した結果では、曲げ・圧縮・硬度などの強さはいずれも200年位まで段々増大し、最大30%近くも強くなり、その後1000年以上を経過して伐採当時の新材と同じ強さに戻ることがわかりました。

含水率が低く、
硬くて長持ちする新月伐採

古民家が建てられた時代では、新月伐採が基本。新月伐採とは、冬季の下弦から新月までのおおよそ2週間で伐採した木のこと。この時期に伐採する木は含水率が低く、デンプン濃度が下がっているため、虫やカビが発しづらく、硬くて長持ちすると言われています。

04 Our Value VALUE 01 古木®

EMOTIONAL VALUE

歴史やストーリーが 引き継がれる古木



ほぞ穴

昔は釘を使わず木材を凸凹に組み合わせて木を接合していました。片方の木材につくる突起部分を“ほぞ”といい、“ほぞ”を差し込む穴を“ほぞ穴”といいます。



生活や手仕事の跡

囲炉裏から立ち昇る煙や煤で真っ黒く燻された木肌、表面に残る鋸(ちょうな)による規則的な凹凸模様、古木の加工や組む際に記された職人直筆の墨文字の跡など。ひとつひとつに長い歴史がしのべれます。



鋸(ちょうな)の跡

荒々しくダイナミックな波状の削り肌。電動ノコギリが無い時代は、鋸を振り下ろして打ちつけることで木材の表面を削りだしていました。



曲がり

昔は屋根と天井の間など人目に触れない位置に曲がった木を使い施工の予算を抑えていました。真っ直ぐな建材が基本の現代。色艶のいい曲がった木材は稀少です。



煙や煤(スス)に燻された
木肌と色合い

表面が黒いのは、囲炉裏から煙やススに含まれる脂が経年変化でじっくりと染みこんだもの。汚れを取り除いて磨きあげると、艶のあるダークブラウン色の木肌が現れます。

04 Our Value VALUE 02 職人たちの技術

一本一本の形状が異なる古木。一般的な建築資材と比べて「直線が取れない。硬い。重い。加工しづらい。」古木の扱いを図面で表すのは難しく、理想の設計を形にするためには、経験と知識を持った職人の技術が不可欠です。山翠舎には、匠の技を受け継ぎ、現代のデザインに活かせる熟練職人が多数在籍しています。



500軒以上の店舗の施工を手がける

使い手にとって満足度が高く、居心地のよい空間を創り出せます。手がけた店舗は500件以上で、業界No1の実績です。

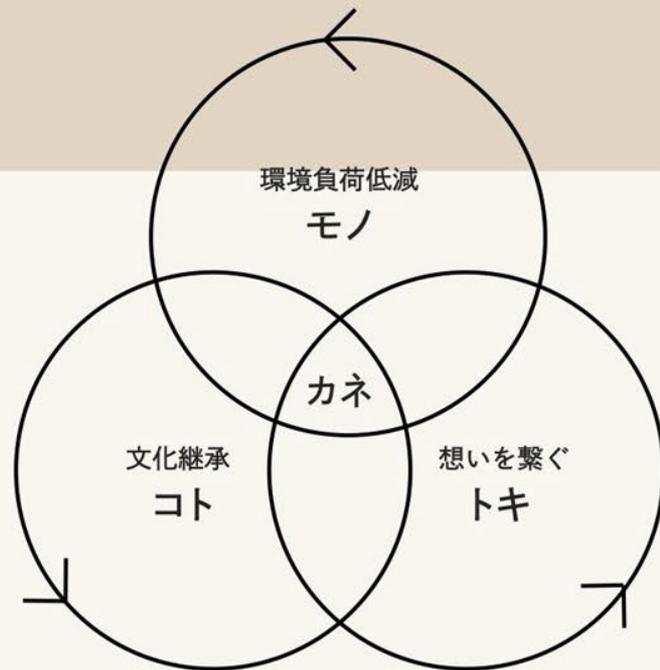


20代若手や女性、熟練職人まで

幅広い世代、女性の大工も活躍し、技術を継承しています。最近では女性の従業員も増え、現場の施工管理などで活躍しています。

04 Our Value VALUE 03 モノ・コト・トキ・カネの循環

山翠舎では「環境負荷低減となるモノの循環」「文化を継承するコトの循環」「住まい手の想いを繋ぐトキの循環」の3つを循環させ、付加価値を高めることで、循環型経済で最も重要な「利益」を生み出す仕組みをつくっています。モノ・コト・トキ・カネ、すべてが循環することにより、古民家の所有者よし、利用者よし、事業者よし、社会よし。「全方よし」で、事業の繁盛・地域の繁栄に寄り添います。



BUSINESS EXAMPLE

古民家リノベーションで賃貸収益化

歴史ある趣はそのままに、最新設備の導入で使い勝手を向上させ、新たな家主へ貸し出すことで、賃貸の収益化が見込めます。

古木買取価格と解体費用の相殺

古民家の解体費用を古木の買取金額で相殺するシステムを採用。古民家解体への経済的ハードルを下げ、古木で得られた利益を積極的に還元しています。

店舗の存続率**83.7%**

手がけた施工数は500件以上。うち83.7%が、コロナ禍でも営業を継続できています。店主の理想を実現した落ち着いた空間は、多くのリピーターを生み出す原動力です。

人と人、地域をつなぐ空間プロデュース

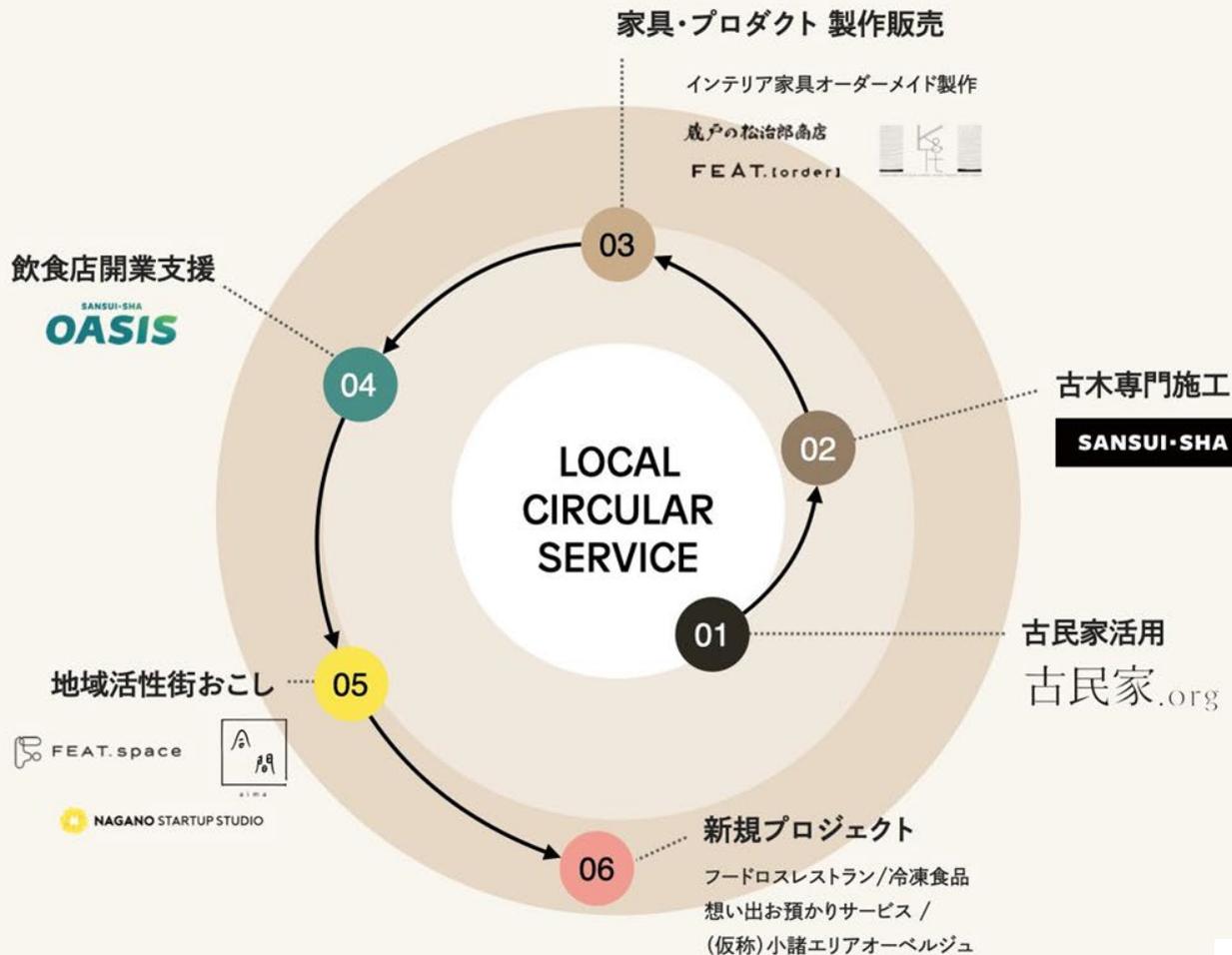
設計施工だけに留まらず、人と地域がつながる持続可能な空間を企画。新しいビジネスが生まれる可能性のある場づくりを行っています。

※山翠舎調査2021年1月実施

05 Service

資源の循環を中心に 人から・モノ・地域へ 事業を広げています。

古民家やそこで使われている古木(古材)を商業施設やオフィスに再活用することで、伝統的な建築技法や日本文化の保全・継承、空き家問題、倒壊古民家への対応、廃棄物の抑制など、持続可能な社会をつくるための取り組みを行なっています。古民家の所有者、事業者、関る地域も利益を享受できる仕組みにすることで、問題の解決を促進します。



05 Service 01 古民家活用

空き家を活かすことは、 街を活かすこと。

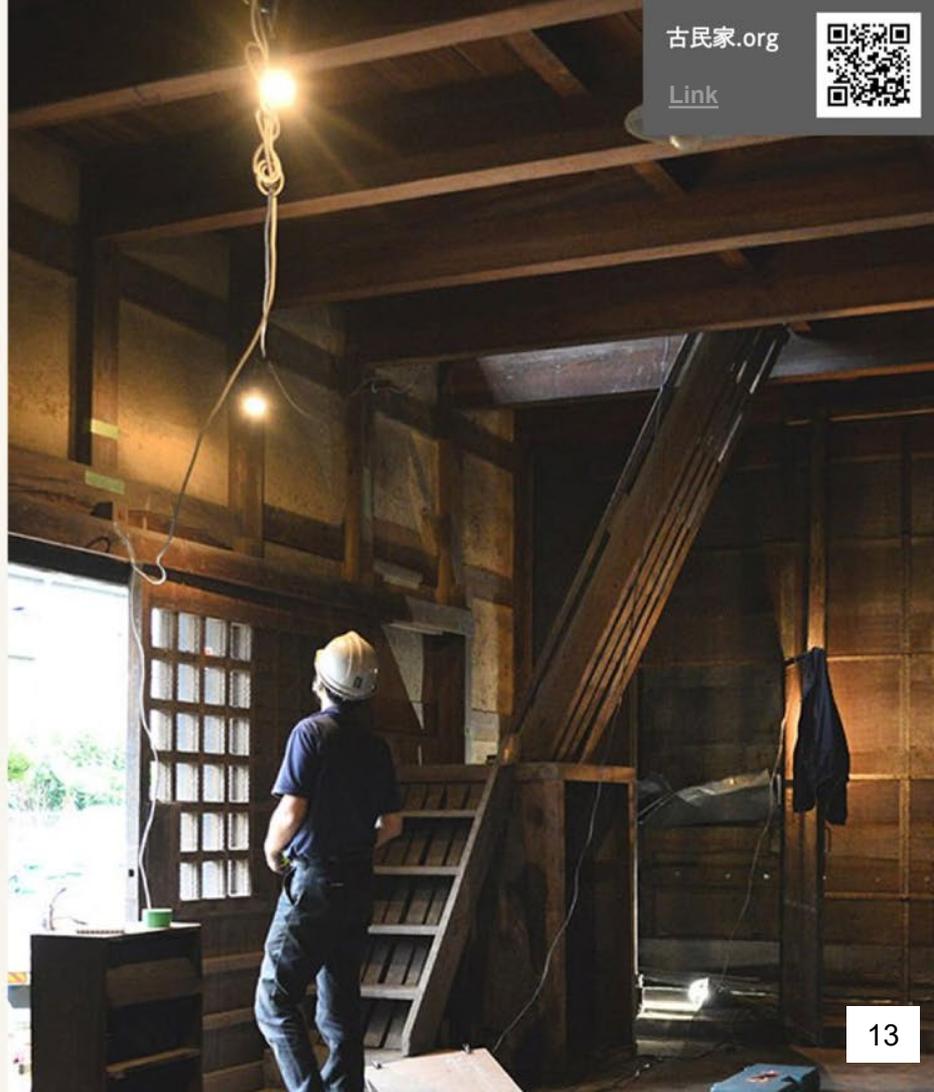
古民家を「再解釈」し「再構成」し「再活性化」させる取り組みです。古民家の解体・古木買取から、古民家をリノベーションし新たな借主につなげる取り組みも行なっています。

SERVICE

古民家.org

FOR YOU

- ・空き家を相続した方
- ・街おこしをしたい方
- ・持ち家を手放すことを検討中の高齢の方



05 Service 02 設計・施工

唯一無二の古木空間を作る。

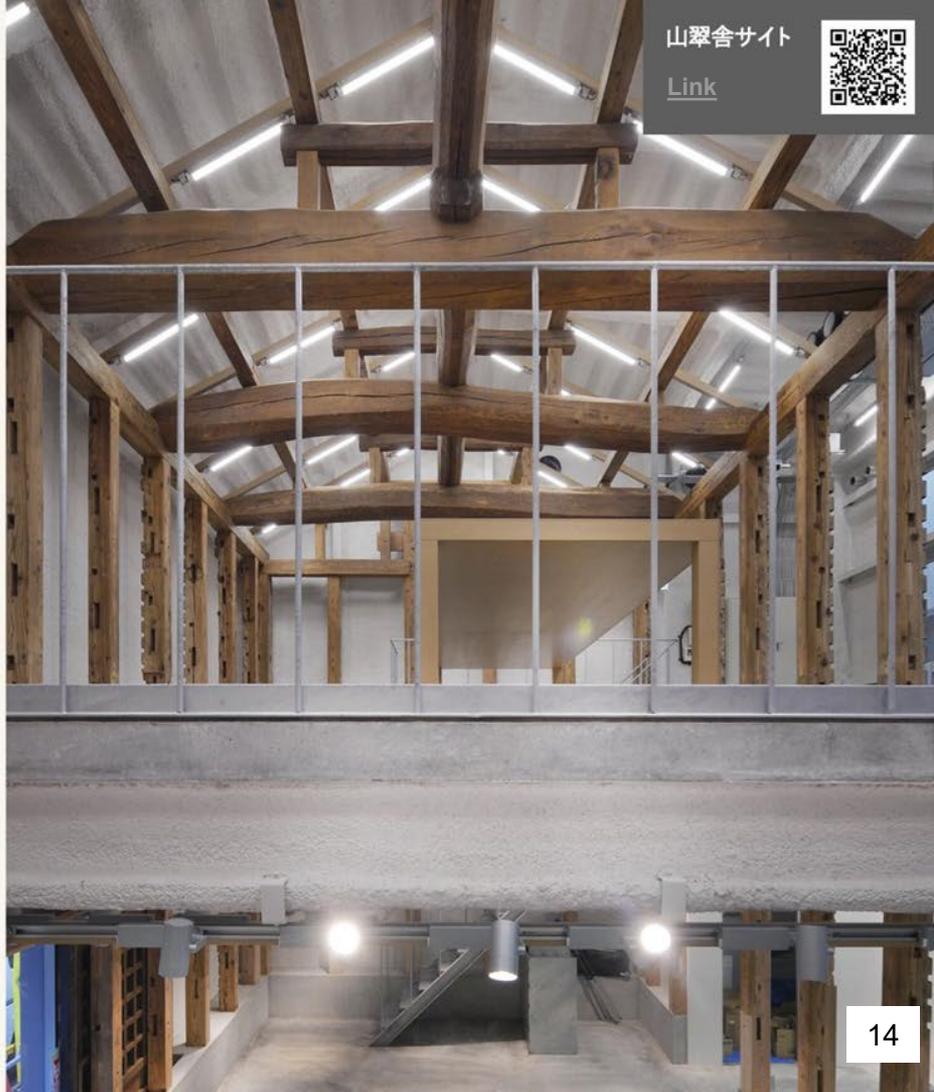
店舗の立ち上げ企画から、資材調達・デザイン、施工、運営まで、開業のプロセスをトータルでサポート。スケジュールと見積の精度とスピードが上がり、コストを抑えることができます。一般的な古材を扱う会社では、図面を引いてから、それに合わせた古材をセレクトして納品しますが、山翠舎はお店のコンセプトを表現できる古材をまず選び、それを中心に設計します。お客様と目標を共有し、理想を追求することができるため、コンセプトがブレません。

SERVICE

SANSUI-SHA

FOR YOU

- ・店舗、住宅をつくりたいオーナー様
- ・建築家・インテリアデザイナーの方



05 Service 03 家具・プロダクト 製作販売

インテリア家具 オーダーメイド製作

一点モノのヴィンテージ素材で、その空間を唯一無二に仕上げる山翠舎の家具。古木の重厚感が、他のものまでも巻き込み、本物の価値があることを証明します。山翠舎のインテリアは、テーブルや椅子、カウンターといった家具や、ツールや什器といったVMDなどで、歴史と現在、自然とプロダクトとの距離を縮めることができます。



大手コーヒーチェーン

テーブル・カウンター(200店舗へ提供)



MUJI HOTEL

古木ベンチ



BEAMS JAPAN

古木什器・ツール

05 Service 04 飲食店開業支援

未来の老舗をつくる。

飲食店を作りたいすべての方々へ。料理人は美味しい食事を提供することに集中していただくために、開業準備を一手に引き受ける支援サービス、飲食店施工実績500軒以上であるこの山翠舎とリリース株式会社が、開業にまつわる不安を取り除くため、物件探し、資金調達から、施工後もフルサポートをします。

SERVICE

SANSUI-SHA
OASIS



FOR YOU

- ・飲食店を開業したい料理人の方
- ・2軒目の展開や移転を考える店舗経営者の方
- ・眠った不動産を活用したい家主の方
- ・事業再構築補助金を採択したい方へ

リリース株式会社

[Link](#)

05 Service 05 地域活性街おこし

人と地域をつなぐ空間事業。

空き家・古民家のリノベーションや古木を使った新たな場所の提供や、人・自然・文化・歴史・コミュニティー・仕事をつなぎ、地域活性化を目指します。行政からの委託、補助金の取得、エリア内有給不動産の活用により、面的な解決ができるのが山翠舎です。

SERVICE

シェアオフィス事業

シェアオフィス事業



起業コミュニティ



やさしい起業コミュニティ

NAGANO STARTUP STUDIO

FOR YOU

- ・都会から移住されてきた方
- ・街に活気をもたらしたい地元住民の方
- ・空き家問題を抱えている家主・行政の方



06 SDGs 持続可能な社会の実現に向けて

2006年から古木を活用した事業を開始し、持続可能な社会づくりに取り組んで参りました。

わたしたち山翠舎の活動は、自然な流れでSDGsの理念と合致しています。

SDGs4 質の高い教育をみんなに

自社メディア「KOBOKU通信」を配信

日本の伝統的建築技法や現在の森林の状況など、環境や暮らしにまつわる企業や地域の取り組み、SDGsに深く関わる情報を発信。

SDGs5 ジェンダー平等を実現しよう

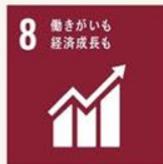
女性の活躍

女性従業員の比率が約4割と、建設業界(設計・施工会社)では高く、現場でも女性が施工管理などで活躍しています。2018年にはリモートワーク制度も導入。時短勤務の制度も充実させ、出産や子育てなど、さまざまな立場の女性でも働きやすい環境づくりを整備しています。

SDGs8 働きがいも経済成長も

伝統的な建築技術の保全・継承

大工の数は年々減少傾向にあります。そこで私たちは、古民家の建築に精通した熟練大工を採用し、さらに古木にまつわる事業を発展させることで、多くの仕事を生み出して若手大工を積極的に採用しています。



SDGs9 産業と技術革新の基盤をつくろう

古木という新たな産業

古木の魅力と古民家の住み手の思いを中継し、居心地のよい洗練された空間をプロデュース。



グッドデザイン賞2019/2020受賞



ウッドデザイン賞2020奨励賞



2020年「地域未来牽引企業」に選定

SDGs10 人や国の不平等をなくそう

シニア職人も活躍

熟練した技術を持つ高齢職人を再雇用し、若手職人への技能継承や意欲向上につなげています。



06 SDGs 持続可能な社会の実現に向けて

SDGs10 住み続けられるまちづくりを

SDGs12 つくる責任 つかう責任

未来と次世代に向けて

古民家の所有者から管理業務を請け負い、古民家をデータベース化して、希望者の計画に最適な古民家や古木を見つけ出すマッチングシステムにより空き家問題の解消します。

また、古木の入手場所や年代、経路を一本一本管理し、古民家の来歴まで探ることでトレーサビリティを実現しているため、古民家に残るストーリーを新たな価値として創出します。

 2019年長野県SDGs推進企業登録

 グッドデザイン賞2019/2020受賞

 ウッドデザイン賞2020奨励賞

 信州SDGsアワード2021 長野県知事賞受賞

 2020年「地域未来牽引企業」に選定


SDGs13 気候変動に具体的な対策を

SDGs15 陸の豊かさを守ろう

脱炭素

古民家を再生することにより、廃棄物として焼却処分されなくなり、CO2の排出を抑制しています。

2019年には、古材としては世界初の快挙となる世界的な森林認証である「FSC認証」を取得。

さらに森林を保護し、CO2を削減する取り組みが、古木の販売1本につき100円を拠出する長野県県有林の森林支援です。EVIを通じてJ-クレジットを購入することで、カーボン・オフセットを実施。古木を活用することで、過剰伐採が続く発展途上国への植樹や間伐が活性化される仕組みです。

 2019年長野県SDGs推進企業登録

 信州SDGsアワード2021 長野県知事賞受賞

 グッドデザイン賞2019/2020受賞

 ウッドデザイン賞2020奨励賞

 2020年「地域未来牽引企業」に選定

SDGs17 パートナーシップで目標を達成しよう

KOBOKU倶楽部

NAGANO STARTUP STUDIOやSDGs交流会の運営など、事業者のベストパートナーとして情報交換の場を生み出し、あらゆるサポートを実施。

 信州SDGsアワード2021 長野県知事賞受賞




07 Company Information 会社概要

社名 株式会社 山翠舎 (さんすいしゃ)

設立日 1930年7月28日(創業 昭和5年)

本社所在地 〒381-0022 長野県長野市大字大豆島4349-10

東京支社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-12-30

倉庫工場 〒398-0001 長野県大町市平9576-2

代表者 代表取締役会長 山上建夫
代表取締役社長 山上浩明

資本金 3,000万円

主な事業 商業建築、飲食店・物販店・店舗改装及び内装工事、造作家具工事、木製建具工事、
個人住宅新築増改築工事全般、古木買取販売、古民家解体再生移築

大町倉庫工場

長野本社

東京支社

★フルリモート社員
在籍中(岡山)

商標登録

商標登録第6031307号 KOBOKU

商標登録第6031308号 古木

商標登録第6225757号 全方よし

商標登録第6261451号 恵美寿柱



07 Company Information 会社概要

グループ会社

山翠舎のサービスと連携し、空間の価値を解放(リリース)する事業を展開しています。



社名	リリース株式会社
設立日	2015年8月24日(平成27年)
本社所在地	〒380-0841 長野県長野市大字長野大門町530-1
東京営業所	〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-12-30 1F
代表者	代表取締役 山上浩明
資本金	500万円
主な事業	飲食店を中心とした開業・出店支援サービス 飲食店を中心とした移転・退去支援サービス シェアオフィス運営

07 Company Information 会社概要

山翠舎代表取締役社長

山上浩明

- 1977年 長野県長野市出身。父方の祖父が建具職人。母方の祖父が材木商。庭の樹齢400年のけやき3本に囲まれて育つ。
- 2000年 大学卒業後、ソフトバンクに営業として入社。社長賞を受賞。
- 2006年 (株)山翠舎に入社し、2012年に代表取締役社長に就任。空き家古民家の社会問題解決を目指して新規事業を展開している。
- 2018年 「スタートアップアントレプレナー表彰プログラム"EOY JapanStartup Award 2018" (主催:EY Japan)」の甲信越代表に選出。
- 2019年 「FSC認証」において、古木で世界初の認証を取得。
- 2020年 「古民家・古木サーキュラー・エコノミー」でグッドデザイン賞(審査委員 井上裕太氏の選んだ一品)・ウッドデザイン賞(奨励賞【審査委員長賞】)受賞。
- 2021年 長野県の「信州SDGsアワード2021」受賞。がっちりマンデーにも出演
その後、2022年からは行政とのプロジェクトも稼働。小諸市のサテライトオフィス事業のプロデュースや、長野市のスマートシティプロジェクトでフードロス削減レストランのプロデュースなど、精力的に活動している。



08 Media Coverage メディア掲載実績

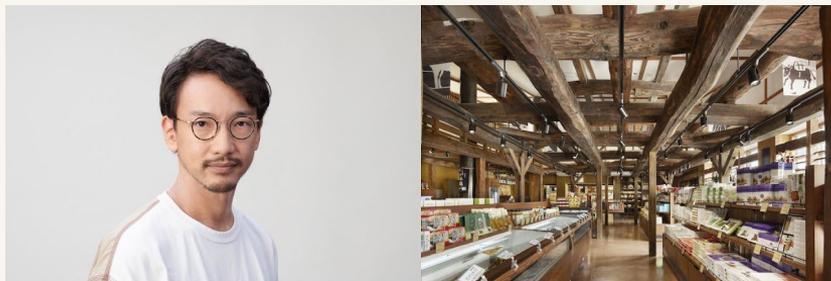
GOOD DESIGN AWARD 2020

「古民家・古木サーキュラーエコノミー」

2020年度グッドデザイン賞審査委員

井上 裕太の選んだ私の一品：日本の建築技法・
文化を守る取り組みを紹介いただきました。

[Link](#)



2020年度グッドデザイン賞審査委員 井上 裕太の選んだ一品
取り組み [古民家・古木サーキュラーエコノミー]

 GOOD DESIGN AWARD 2020

メディア掲載実績

- 新聞掲載 49件
日本経済新聞、朝日新聞、信濃毎日新聞、etc
- 雑誌掲載 25件
事業構想、Discover Japan、etc
- テレビ出演 20件
SBC信越放送、テレビ東京、NHK、TBS、etc



Case Study

APPENDIX

山翠舎施工実績事例集

ウェブサイト: <https://discovery.sansui-sha.co.jp/>



05 Service 01 古民家活用

CASE STUDY

竹林庵みずの

#コンバージョン

#宿泊施設

歳月の分だけ物語がある

だらりと過ごせる古民家の宿 細い道の先、高台に佇む宿。
 重厚感ある古木扉がお出迎え。「一期一会・イチゴイチエ」
 を大切に。オーナー自身が暮らしたい、使いたい空間の演
 出。引き算の美学が反映されたデザイン、けやきの古木から
 は温もりが漂います。



竣工 2013年06月



T-HOUSE New Balance

#コンバージョン

#小売店舗

明治の土蔵を、令和の建造物へ。

日本橋の新店舗の開業に伴うプロジェクト。

米ニューバランス社、ニューバランス東京デザイン

スタジオ、建築家、不動産ディベロッパー、工業者など、それぞれの分野のプロフェッショナルで構成されるこのプロジェクトのために組まれたユニットに、山翠舎は古民家移築と伝統的建築技法のエキスパートとして参画しました。明治の土蔵を伝統的建築技法を知る熟練の大工たちの手作業により解体。大町の倉庫にて調整・仮組みを行い、日本橋の店舗地にて、令和の建造物内に移築しました。

施主 ニューバランス / デベロッパー 安田不動産

設計 長坂常, スキーマ建築計画, オンデザインパートナーズ

古木専門施工 山翠舎

竣工 2020年07月



治一郎 エキュート東京店

#小売店舗

#VMD

丸の内の町並みと共振する “NEW VINTAGE”

土地の歴史や産物から生まれた設計コンセプト“New Vintage”。丸の内の街並みは、歴史建築のファサード保存による都市景観を形成しています。それと共振するように、この店舗のデザインも味わいのある古木と無機質で近代的なステンレスを融合させ、ふたつの異素材が組み合わせることで独特の存在感を発揮しています。柱や壁にも、時間とともに少しずつ表情を変えていくSOLIDO(ソリド)というセメントでできた自然素材を使うことで、時間(とき)を感じようになっています。古木の端材はバウムクーヘンのディスプレイなどVMDにも使用されています。

竣工 2021年4月



代官山KURUMAYA

#ロゴデザイン #事業再構築補助金

長野の老舗漬物屋が作った
代官山のワインビストロ

代官山駅から徒歩2分、長野県の老舗漬物屋『くるまや』の新規事業、長野ワイン専用ビストロ『代官山KURUMAYA』。道路に面した大きな開口からは、暖かな光の中で人々が賑わう店内の様子が伺えます。東京・代官山にありながら、どこか長野のゆったりとした時の流れや、自然の豊かさを感じられるように古木をはじめ、フローリングやカウンターなどは無垢材を使用し、居心地の良い深みのある空間を構成しています。カウンター席からは、オープンキッチン越しに、ビールタップや、オーナーこだわりの長野ワインがずらりと並ぶワインセラーを眺められ、長野の旬の食材とワインを楽しめます。メインウォールには、『くるまや』創業時から受け継がれる大切な歴史を刻んだ水車が飾られています。新規事業を立ち上げるにあたっては、事業再構築補助金を活用しています。

竣工 2022年07月



道の駅 小谷

#観光施設

#コンバージョン

地元の古民家、工芸品で小谷を表現

道の駅小谷の老朽化に伴い売り場の改装を担当しました。小谷(オタリ)は長野県北部に位置した新潟との県境にある長野県でも有数の豪雪地帯。また昔より日本海側と内陸側を結ぶ塩の道もあり、物資を牛で運んでいたようです。牧歌的で文化的な場所だからできる小谷らしさをアピールし他県やインバウトの方々に広く知っていただき興味をもって頂けるようなお店を目標としました。製作現場では地元小谷の民家で使われていた古木や茅葺職人・左官職人・陶芸家などたくさんの小谷の職人さん達に協力していただき唯一無二のものづくりにしています。店内にはシンボルツリーとして小谷村にある乳房の木をイメージした大木や古木で古民家の小屋組みを表現致しました。本物の質感が作りだす臨場感あふれる空間を感じて下さい。

写真:ナカサ&パートナーズ

竣工:2020年03月



設計図面には表記されていない「技」が積み重なり、完成予定ペースに近づいて行くことが不思議でした。

— 施主 株式会社 道の駅おたり 代表取締役 幾田 美彦 様

【ご参考】財務情報

(単位:百万円)	第52期 (2021年9月期)	第53期 (2022年9月期)	第54期 (2023年6月末時点)
売上高	672	1,030	736
経常利益	17	47	42
総資産	664	793	1,003

注) 決算月は9月です。

第54期(2023年6月末時点)は、2022年10月～2023年6月の9ヶ月間の実績です。
上記財務情報については、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。